

平成28年度 農薬登録における作物グループ化検討試験明細書

(試験期間 28年6月 ～ 28年8月)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

1. 被験物質

(1) 一般名・剤型

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ①イミノクタジン酢酸塩(ポリベリン)水和剤 | ⑩アバメクチン(アグリメック)乳剤 |
| ②シハロトリン (サイハロン) 乳剤 | ⑪T P N (ダコニール1000)フロアブル |
| ③ジフェノコナゾール(スコア)顆粒水和剤 | ⑫キノキサリン系(モレスタン)水和剤 |
| ④トラロメトリン(スカウト)フロアブル | ⑬フルバリネート(マブリック)水和剤20 |
| ⑤シベルメトリン(アグロスリン) 乳剤 | ⑭ポリオキシン複合体(ポリオキシンAL)水溶剤 |
| ⑥エマメクチン安息香酸塩(アフーム)乳剤 | ⑮クロルフルアズロン(アタブロン)乳剤 |
| ⑦フェンピロキシメート(ダニトロン)フロアブル | ⑯キャブタン(オーソサイド)水和剤80 |
| ⑧カスガマイシン(カスミンボルドー) | ⑰ジフルベンズロン(デミリン)水和剤 |
| ⑨D B E D C (サンヨール) | ⑱マンゼブ(ジマンダイセン)水和剤 |
| ⑩マラソン(マラソン)乳剤 | ⑲ミルベメクチン(コロマイト)乳剤 |
| ⑪ジチアノン(デランT)水和剤 | |
| ⑫有機銅(ドキリン)フロアブル | |
| ⑬ビフェナゼート(マイトコーネ)フロアブル | |
| ⑭フルベンジアミド(フェニックス)顆粒水和剤 | |
| ⑮チアクロプリド(バリアード)顆粒水和剤 | |

(2) 有効成分名及び成分含有率

- | | | | |
|--------------|-------|------------|-------|
| ①イミノクタジン酢酸塩 | 5.0% | ⑩アバメクチン | 1.8% |
| ②シハロトリン | 5.0% | ⑪T P N | 40.0% |
| ③ジフェノコナゾール | 10.0% | ⑫キノキサリン系 | 25.0% |
| ④トラロメトリン | 1.4% | ⑬フルバリネート | 20.0% |
| ⑤シベルメトリン | 6.0% | ⑭ポリオキシン複合体 | 50.0% |
| ⑥エマメクチン安息香酸塩 | 1.0% | ⑮クロルフルアズロン | 5.0% |
| ⑦フェンピロキシメート | 5.0% | ⑯キャブタン | 80.0% |
| ⑧カスガマイシン | 5.7% | ⑰ジフルベンズロン | 23.5% |
| ⑨D B E D C | 20.0% | ⑱マンゼブ | 80.0% |
| ⑩マラソン | 50.0% | ⑲ミルベメクチン | 1.0% |
| ⑪ジチアノン | 50.0% | | |
| ⑫有機銅 | 35.0% | | |
| ⑬ビフェナゼート | 20.0% | | |
| ⑭フルベンジアミド | 20.0% | | |
| ⑮チアクロプリド | 30.0% | | |

(3) 被験物質のLot No.

- | | |
|--------------|------------|
| ① D5E04 | ⑩ 14Y13 |
| ② A5K03 | ⑪ 1EJF05 |
| ③ S1K41WG073 | ⑫ 05024 |
| ④ HDL-02SN | ⑬ D4B02 |
| ⑤ A6C02 | ⑭ 421 |
| ⑥ 5512N | ⑮ 019540 |
| ⑦ C5H05 | ⑯ HC618X |
| ⑧ HI401Y | ⑰ 05003 |
| ⑨ 11333 | ⑱ 5K11 |
| ⑩ NG501Z | ⑲ 48U80023 |
| ⑪ SDJ-01G | |
| ⑫ A5D10 | |
| ⑬ OEK010 | |
| ⑭ S5B25 | |
| ⑮ PD15M00001 | |

2. 農作物名 すいか 品種名 ひとりじめHM

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 茨城研究所

試験圃場所在地 茨城県牛久市結束町535番地

4. 試験責任者氏名 沼田京太, 中村達都, 岡本陽子, 櫻井昭寿, 富田恭範, 川北充彦, 後藤直人

5. 土性 砂土・砂壤土・**壤土**・埴壤土・埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙1～3に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トナリ栽培の被覆時期を記載す

露地・施設の別 施設(ガラスハウス) 有袋・無袋の別 —

播種:平成28年4月28日、定植:6月16日、地這い栽培、摘芯:7月1日

人工交配:7月13日～19日

栽植密度:畝間250cm、株間60cm、1条植え、3本仕立て(マルチ被覆)、約670株/10a

施肥(10a当たり):5月30日キヨミ有機(堆肥)2000kg。その他の管理は、慣行に従った。

収穫適期:8月上旬～8月中旬

8. 生育ステージ —

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙4に記載

10. 試験区

(1) 試験区の面積および(株)数

処理区A:36.0㎡(2.5m×4.8m×3畝) 24株、処理区B:36.0㎡(2.5m×14.4m×1畝) 24株

処理区C:36.0㎡(2.5m×14.4m×1畝) 24株、処理区D:45.0㎡(2.5m×18.0m×1畝) 30株

処理区E:45.0㎡(2.5m×18.0m×1畝) 30株、処理区F:45.0㎡(2.5m×18.0m×1畝) 30株

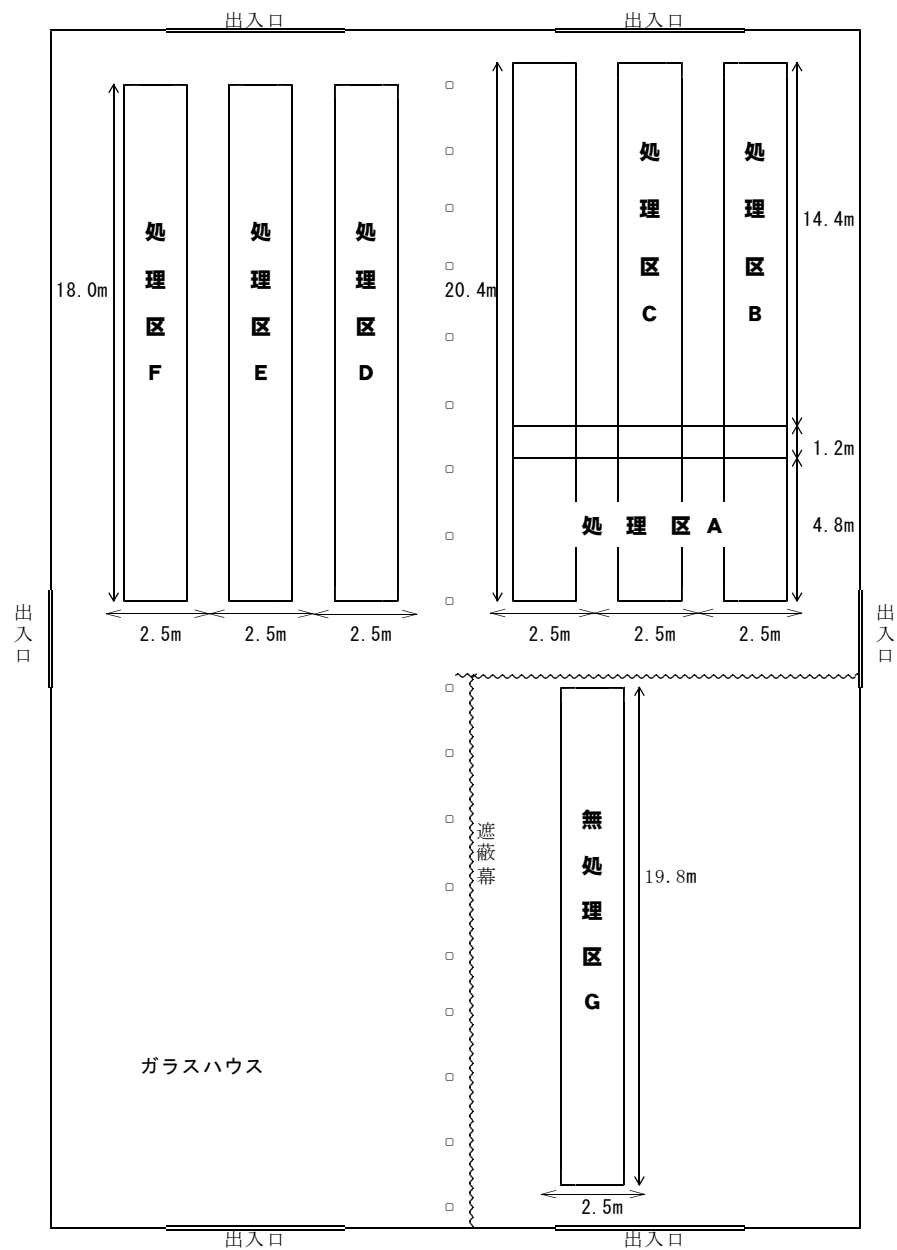
無処理区G:49.5㎡(2.5m×19.8m×1畝) 33株

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ

面積:874㎡, 容積:2840.5㎡, 高さ:4.5m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としてもかまいません)

- ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。
- イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
- ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年7月11日	スカウト						無処理	2000倍	200L	3.6mL/7.2L/36.0m ²	5.0mL/10L	茎葉伸長期 (草丈約110cm)	茎葉散布（混用）
	アグロスリン							1000倍		7.2mL/7.2L/36.0m ²	10.0mL/10L		
7月18日	ポリベリン							1000倍	228L	8.2g/8.2L/36.0m ²	10.0g/10L	交配期 (草丈約180cm)	茎葉散布（混用）
	スカウト							2000倍		4.1mL/8.2L/36.0m ²	5.0mL/10L		
	アグロスリン							1000倍		8.2mL/8.2L/36.0m ²	10.0mL/10L		
7月25日	ポリベリン							1000倍	247L	8.9g/8.9L/36.0m ²	10.0g/10L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
	スコア							2000倍		4.5g/8.9L/36.0m ²	5.0g/10L		
	スカウト							2000倍		4.5mL/8.9L/36.0m ²	5.0mL/10L		
	アグロスリン							1000倍		8.9mL/8.9L/36.0m ²	10.0mL/10L		
8月 1日	ポリベリン							1000倍	289L	10.4g/10.4L/36.0m ²	12.0g/12L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
	スコア							2000倍		5.2g/10.4L/36.0m ²	6.0g/12L		
	スカウト							2000倍		5.2mL/10.4L/36.0m ²	6.0mL/12L		
	アグロスリン							1000倍		10.4mL/10.4L/36.0m ²	12.0mL/12L		
8月 8日	ポリベリン							1000倍	289L	10.4g/10.4L/36.0m ²	12.0g/12L	収穫期	茎葉散布（混用）
	サイハロン							2500倍		4.2mL/10.4L/36.0m ²	4.8mL/12L		
	スコア							2000倍		5.2g/10.4L/36.0m ²	6.0g/12L		
	スカウト							2000倍		5.2mL/10.4L/36.0m ²	6.0mL/12L		
	アグロスリン							1000倍		10.4mL/10.4L/36.0m ²	12.0mL/12L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月11日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。	時刻 16：48 ～ 16：58	天候：晴、無風
7月18日		時刻 17：27 ～ 17：36	天候：晴、無風
7月25日		時刻 14：57 ～ 15：07	天候：曇、無風
8月 1日		時刻 17：12 ～ 17：23	天候：晴、無風
8月 8日		時刻 13：37 ～ 13：49	天候：曇、無風

- (1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -
- (2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
 各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月11日は2剤、18日は3剤、25日、8月1日は4剤および8月8日は5剤を混用して薬液を作製した。

(H28グループ化:すいか)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量	ステージ	
H28年7月 4日		マラソン					無処理	1000倍	206L	7.4ml/7.4L/36.0㎡	9.0mL/9L	茎葉伸長期 （草丈約110cm）	茎葉散布
7月11日		カシミホ [®] ルト [®]						1000倍	203L	7.3g/7.3L/36.0㎡	9.0g/9L	茎葉伸長期	茎葉散布（混用）
		マラソン						1000倍		7.3mL/7.3L/36.0㎡	9.0mL/9L		
7月18日		カシミホ [®] ルト [®]						1000倍	222L	8.0g/8.0L/36.0㎡	10.0g/10L	交配期	茎葉散布（混用）
		サンヨール						500倍		16.0mL/8.0L/36.0㎡	20.0mL/10L		
		マラソン						1000倍		8.0mL/8.0L/36.0㎡	10.0mL/10L		
7月25日		アフアーム						1000倍	242L	8.7mL/8.7L/36.0㎡	10.0mL/10L	果実肥大期 （草丈約180cm）	茎葉散布（混用）
		ダニトロン						1000倍		8.7mL/8.7L/36.0㎡	10.0mL/10L		
		カシミホ [®] ルト [®]						1000倍		8.7g/8.7L/36.0㎡	10.0g/10L		
		サンヨール						500倍		17.4mL/8.7L/36.0㎡	20.0mL/10L		
		マラソン						1000倍		8.7mL/8.7L/36.0㎡	10.0mL/10L		
8月 1日		アフアーム						1000倍	283L	10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
		ダニトロン						1000倍		10.2ml/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
		カシミホ [®] ルト [®]						1000倍		10.2g/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
		サンヨール						500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		
		マラソン						1000倍		10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
8月 8日		アフアーム						1000倍	283L	10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L	収穫期	茎葉散布（混用）
		ダニトロン						1000倍		10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
		カシミホ [®] ルト [®]						1000倍		10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
		サンヨール						500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		
		マラソン						1000倍		10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年7月 4日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。	時刻 16：50 ～ 16：58	天候：晴、無風
7月11日		時刻 16：48 ～ 16：56	天候：晴、無風
7月18日		時刻 17：27 ～ 17：36	天候：晴、無風
7月25日		時刻 14：57 ～ 15：07	天候：曇、無風
8月 1日		時刻 17：12 ～ 17：23	天候：晴、無風
8月 8日		時刻 13：37 ～ 13：49	天候：曇、無風

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月11日は2剤、18日は3剤、25日、8月1日8日は5剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									1 O a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年7月11日			デランT					700倍	203L	10.4g/7.3L/36.0㎡	14.3g/10L	茎葉伸長期 （草丈約110cm）	茎葉散布（混用）
			ドキリン					500倍		14.6mL/7.3L/36.0㎡	20.0mL/10L		
7月18日			デランT					700倍	222L	11.4g/8.0L/36.0㎡	14.3g/10L	交配期 （草丈約180cm）	茎葉散布（混用）
			ドキリン					500倍		16.0mL/8.0L/36.0㎡	20.0mL/10L		
7月25日			デランT					700倍	242L	12.4g/8.7L/36.0㎡	14.3g/10L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
			ドキリン					500倍		17.4mL/8.7L/36.0㎡	20.0mL/10L		
			バリアード					2000倍		4.4g/8.7L/36.0㎡	5.0g/10L		
			アグリメック					500倍		17.4mL/8.7L/36.0㎡	20.0mL/10L		
8月 1日			デランT					700倍	283L	14.6g/10.2L/36.0㎡	17.1g/12L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
			ドキリン					500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		
			フェニックス					2000倍		5.1g/10.2L/36.0㎡	6.0g/12L		
			バリアード					2000倍		5.1g/10.2L/36.0㎡	6.0g/12L		
			アグリメック					500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		
8月 8日			デランT					700倍	283L	14.6g/10.2L/36.0㎡	17.1g/12L	収穫期	茎葉散布（混用）
			ドキリン					500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		
			マイトコーネ					1000倍		10.2mL/10.2L/36.0㎡	12.0mL/12L		
			フェニックス					2000倍		5.1g/10.2L/36.0㎡	6.0g/12L		
			バリアード					2000倍		5.1g/10.2L/36.0㎡	6.0g/12L		
			アグリメック					500倍		20.4mL/10.2L/36.0㎡	24.0mL/12L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
			時刻	天候
H28年7月11日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。		時刻 17：46 ～ 17：54	天候：晴、無風
7月18日			時刻 18：12 ～ 18：21	天候：晴、無風
7月25日			時刻 15：36 ～ 15：46	天候：曇、無風
8月 1日			時刻 17：48 ～ 18：00	天候：晴、無風
8月 8日			時刻 14：12 ～ 14：25	天候：曇、無風

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液を多めに作成して散布した。なお、7月11日、18日は2剤、25日は4剤、8月1日は5剤、8日は6剤を混用して薬液を作製した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年7月11日				ダコニール			無処理	700倍	207L	13.3mL /9.3L/45.0㎡	14.3mL/10L	茎葉伸長期 (草丈約110cm)	茎葉散布（混用）
				モレスタン				2000倍		4.7g/9.3L/45.0㎡	5.0g/10L		
				ポリオキシシン				1000倍		9.3g /9.3L/45.0㎡	10.0g/10L		
7月18日				ダコニール				700倍	227L	14.6mL /10.2L/45.0㎡	17.1mL/12L	交配期 (草丈約180cm)	茎葉散布（混用）
				モレスタン				2000倍		5.1g/10.2L/45.0㎡	6.0g/12L		
				ポリオキシシン				1000倍		10.2g/mL/10.2L/45.0㎡	12.0g/12L		
7月25日				ダコニール				700倍	249L	16.0mL/11.2L/45.0㎡	18.6mL/13L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
				モレスタン				2000倍		5.6g /11.2L/45.0㎡	6.5g/13L		
				ポリオキシシン				1000倍		11.2g/11.2L/45.0㎡	13.0g/13L		
8月1日				ダコニール				700倍	289L	18.6mL/13.0L/45.0㎡	20.0mL/14L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
				モレスタン				2000倍		6.5g/13.0L/45.0㎡	7.0g/14L		
				マブリック				2000倍		6.5g/13.0L/45.0㎡	7.0g/14L		
				ポリオキシシン				1000倍		13.0g/13.0L/45.0㎡	14.0g/14L		
8月8日				ダコニール				700倍	289L	18.6mL/13.0L/45.0㎡	20.0mL/14L	収穫期	茎葉散布（混用）
				モレスタン				2000倍		6.5g/13.0L/45.0㎡	7.0g/14L		
				マブリック				2000倍		6.5g/13.0L/45.0㎡	7.0g/14L		
				ポリオキシシン				1000倍		13.0g/13.0L/45.0㎡	14.0g/14L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
				特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H26年7月11日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。			時刻 17:46 ~ 17:56	天候：晴、無風
7月18日				時刻 18:12 ~ 18:23	天候：晴、無風
7月25日				時刻 15:36 ~ 15:48	天候：曇、無風
8月1日				時刻 17:48 ~ 18:02	天候：晴、無風
8月8日				時刻 14:12 ~ 14:27	天候：曇、無風

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
7月11日、18日、25日は3薬剤、8月1日と8日は4薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年6月27日					オーソサイド		無処理	400倍	204L	23.0g /9.2L/45.0m ²	30.0g /12L	茎葉伸長期 (草丈約120cm)	茎葉散布
7月 4日					オーソサイド			400倍	204L	23.0g/9.2L/45.0m ²	30.0g/12L	茎葉伸長期	茎葉散布
7月11日					アタブロン			2000倍	202L	4.6mL /9.1L/45.0m ²	6.0mL/12L	茎葉伸長期	茎葉散布（混用）
					オーソサイド			400倍		22.8g/9.1L/45.0m ²	30.0g/12L		
7月18日					アタブロン			2000倍	222L	5.0mL/10.0L/45.0m ²	6.0mL/12L	交配期	茎葉散布（混用）
					オーソサイド			400倍		25.0g /10.0L/45.0m ²	30.0g/12L		
7月25日					アタブロン			2000倍	242L	5.5g/10.9L/45.0m ²	6.5mL/13L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
					オーソサイド			400倍		27.3g/10.9L/45.0m ²	32.5g/13L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等		処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
				時刻	天候
H28年6月27日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。			時刻 16:15 ～ 16:25	天候：晴、無風
7月 4日				時刻 16:20 ～ 16:30	天候：晴、無風
7月11日				時刻 16:48 ～ 16:58	天候：晴、無風
7月18日				時刻 17:27 ～ 17:38	天候：晴、無風
7月25日				時刻 14:57 ～ 15:09	天候：曇、無風

(1) 展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を、高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
7月11日、18日、25日は、それぞれ2薬剤を混用して薬液を作成した。

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	F 区	G 区	処理濃度	処 理 量			処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
									10a当	試験区当（農薬量/散布量/面積）	実際に秤量した農薬量/薬液量		
H28年6月20日						ジマンダイセン	無処理	400倍	204L	23.0g/9.2L/45.0m ²	30.0g/12L	茎葉伸長期 (草丈約60cm)	茎葉散布
6月27日						ジマンダイセン		400倍	204L	23.0g/9.2L/45.0m ²	30.0g/12L	茎葉伸長期 (草丈約120cm)	茎葉散布
7月4日						ジマンダイセン		400倍	204L	23.0g/9.2L/45.0m ²	30.0g/12L	茎葉伸長期	茎葉散布
7月11日						ジマンダイセン		400倍	202L	22.8g/9.1L/45.0m ²	30.0g/12L	茎葉伸長期	茎葉散布
7月18日						デミリン		1000倍	222L	10.0g/10.0L/45.0m ²	12.0g/12L	交配期	茎葉散布（混用）
						ジマンダイセン		400倍		25.0g/10.0L/45.0m ²	30.0g/12L		
7月25日						デミリン		1000倍	242L	10.9g/10.9L/45.0m ²	13.0g/13L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
						ジマンダイセン		400倍		27.3g/10.9L/45.0m ²	32.5g/13L		
						コロマイト		1000倍		10.9mL/10.9L/45.0m ²	13.0mL/13L		
8月1日						デミリン		1000倍	282L	12.7g/12.7L/45.0m ²	14.0g/14L	果実肥大期	茎葉散布（混用）
						ジマンダイセン		400倍		31.8g/12.7L/45.0m ²	35.0g/14L		
						コロマイト		1000倍		12.7mL/12.7L/45.0m ²	14.0mL/14L		

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H28年6月20日	散布機：背負式バッテリー動噴（丸山製作所 MSB1500Li） ノズル：狭角コーンノズル（1頭口）（丸山製作所） 散布方法：試験区を分割し、分割した区画を一定の時間、全体へ均一に散布した。		時刻 16:36 ～ 16:46	天候：晴、無風
6月27日			時刻 15:57 ～ 16:07	天候：晴、無風
7月4日			時刻 15:56 ～ 16:06	天候：晴、無風
7月11日			時刻 17:46 ～ 17:56	天候：晴、無風
7月18日			時刻 18:12 ～ 18:23	天候：晴、無風
7月25日			時刻 15:36 ～ 15:48	天候：曇、無風
8月1日			時刻 17:12 ～ 17:27	天候：晴、無風

（１）展着剤 使用せず 使用した区番号 - 展着剤名 - 濃度または量 -

（２）備考 試験薬剤の散布時には、無処理区との間を高さ約1.8mまでポリフィルムで遮蔽した。
各回、薬液は多めに作成した。
7月18日は2薬剤、25日、8月1日は3薬剤を混用して薬液を作成した。

(H28グループ化:すいか)

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会茨城研究所

12. 試料採取 (試料番号は試料送付時に「送付カード」(別添様式)に記入したものを記載する)

区 分 採取月日	A 区 試料番号	B 区 試料番号	C 区 試料番号	D 区 試料番号	E 区 試料番号	F 区 試料番号	G 区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順 (区番号順)	試料送付量	試料送付月日
H28.8月 8日					E-1	F-1	G (無処理)	G区 時刻: 8:36 ~ 8:47 天候: 曇 E区 時刻: 11:12 ~ 11:15 天候: 曇 F区 時刻: 11:13 ~ 11:16 天候: 曇	G → E → F EとFは異なる作業者が採取した。	G : 18個 / 31.2 kg E-1 : 6個 / 9.2 kg F-1 : 6個 / 8.8 kg	8月8日
8月 9日	A-1	B-1	C-1					A区 時刻: 9:15 ~ 9:20 天候: 曇 B区 時刻: 9:15 ~ 9:20 天候: 曇 C区 時刻: 9:15 ~ 9:20 天候: 曇	A, B, Cは異なる作業者が採取した。	A-1 : 6個 / 10.1 kg B-1 : 6個 / 9.7 kg C-1 : 6個 / 10.2 kg	8月9日
8月11日	A-2	B-2	C-2	D-1				A区 時刻: 9:06 ~ 9:16 天候: 曇 B区 時刻: 9:06 ~ 9:14 天候: 曇 C区 時刻: 9:16 ~ 9:22 天候: 曇 D区 時刻: 9:06 ~ 9:17 天候: 曇	A B → C D A, B, Dは異なる作業者が採取した。	A-2 : 6個 / 12.5 kg B-2 : 6個 / 10.9 kg C-2 : 6個 / 11.1 kg D-1 : 6個 / 8.9 kg	8月11日
8月15日	A-3	B-3	C-3	D-2	E-2	F-2		F区 時刻: 8:53 ~ 9:00 天候: 曇 E区 時刻: 8:53 ~ 9:00 天候: 曇 D区 時刻: 8:53 ~ 9:00 天候: 曇 C区 時刻: 9:35 ~ 9:43 天候: 曇 B区 時刻: 9:35 ~ 9:43 天候: 曇 A区 時刻: 9:35 ~ 9:43 天候: 曇	F → C E → B D → A D, E, Fは異なる作業者が採取した。	F-2 : 5個 / 8.8 kg E-2 : 6個 / 10.6 kg D-2 : 5個 / 9.5 kg C-3 : 6個 / 12.5 kg B-3 : 6個 / 13.0 kg A-3 : 6個 / 14.3 kg	8月15日
8月22日				D-3	E-3	F-3		D区 時刻: 8:48 ~ 8:55 天候: 雨 E区 時刻: 8:48 ~ 8:54 天候: 雨 F区 時刻: 8:48 ~ 8:53 天候: 雨	D, E, Fは異なる作業者が採取した。	D-3 : 6個 / 13.4 kg E-3 : 6個 / 12.7 kg F-3 : 6個 / 13.8 kg	8月22日

区 分 採取月日	送付試料について (該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する)
8月 8日	1. 試料の大きさは(やや大きい) ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
8月 9日	1. 試料の大きさは(やや大きい) ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
8月11日	1. 試料の大きさは(やや大きい) ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
8月15日	1. 試料の大きさは(やや大きい) ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因
8月22日	1. 試料の大きさは(やや大きい) ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある) 2. 熟期は(やや早い) ☒ 通常 やや過熟) 3. その他 () 4. 原因

(1) 試料採取方法	使用した器具(機械)、採取方法の詳細、 採取後乾燥等のための輸送方法を記載
	各区、試験区の境界部(南北)を外した全体から大きさの揃った試料を鉢を用いて採取し、その都度清浄なプラスチック製のかごに入れた。
(2) 採取後の調製・梱包方法	試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、 脱粒・すり等の方法、調製の試料調製方法および試料の梱包方法を記載
	採取した試料は、1個ずつ包装紙で包んでポリ袋に入れ、更にエアクッションで包んだ。それを、包装紙を敷いたダンボール箱(無処理区は1箱6個入りを計3箱、処理区は1箱6個入りと5個入り)に入れ、裁断した紙を詰めて試料が動かない事を確認し梱包した。
(3) 試料送付先	分析機関： 一般財団法人 残留農薬研究所
(4) 試料の輸送方法	到着日指定、温度指定、 輸送会社等 ヤマト運輸の冷蔵便で、いずれも到着を送付翌日に指定して送付した。
(5) 備考	試料に直接触れる作業者は、手袋を着用し、試験区毎に交換した。

試験期間中の気象

観測地点および試料調製場所: 茨城県牛久市結束町535番地 一般社団法人日本植物防疫協会茨城研究所(ガラスハウス)

観測条件: 気温:平均気温(1 時間毎)

(28年)

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
6	施設内気温 (°C)																				29.7	25.1	23.5	24.4	23.9	25.5	28.5	27.7	22.9	23.6	25.4	
7	施設内気温 (°C)	27.9	28.3	31.0	30.1	21.9	23.8	27.9	28.4	25.0	29.4	30.4	28.7	26.9	28.3	24.0	25.2	27.3	29.4	30.0	27.2	23.8	22.8	23.2	25.1	26.4	24.4	25.3	28.8	29.7	28.9	28.6
8	施設内気温 (°C)	28.8	28.3	29.6	30.7	31.9	31.3	30.0	29.3	31.7	29.6	27.3	27.9	27.1	26.6	27.7	27.8	30.0	27.4	28.5	28.1	29.6	26.3									

別紙1. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区A、処理区B、処理区C (GH2)

無栽培:	平成27年	8月 5日	トシヨビ [®] クリン 30L/10a 全面点注
		9月 1日	フルエンスルホン (ネマショット) 粒剤 全面処理土壌混和
葉ねぎ:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
		12月15日	アミスター-20フロア [®] ル2000倍・ハチハチ乳剤1000倍
	平成28年	1月 6日	ハチハチ乳剤1000倍
ほうれんそう:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
しゅんぎく:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
みずな:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
みつば:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
さやいんげん:	平成27年	10月13日	リゾ [®] レックス水和剤 500倍1L/㎡灌注
		11月15日	スミレックス水和剤1000倍・コルト顆粒水和剤3000倍・サンマイフロア [®] ル1000倍
しろうり:	平成28年	2月 9日	ネマトリンエース粒剤 20kg/10a
		3月15日	アファーム乳剤2000倍・イオウフロア [®] ル500倍・ライメイフロア [®] ル2000倍
		4月 3日	アファーム乳剤2000倍・イオウフロア [®] ル500倍・ライメイフロア [®] ル2000倍
		5月 3日	アファーム乳剤2000倍・タ [®] コニール1000 2000倍・モスビ [®] ラン顆粒水溶剤4000倍
		4月25日, 5月 2日, 5月 9日, 5月16日	シカラリ [®] ロー [®] ル (テッパ [®] ン) 液剤1000倍
無栽培:	平成28年	6月 1日	クロビ [®] ク80 30L/10a 全面点注

別紙2. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬

処理区D、処理区E、処理区F (GH1)

ししとう：平成27年 6月1日, 6月8日, 6月15日, 6月22日 カスカイシン・銅(カスミンホルトー)水和剤1000倍
 6月 4日 オルトラン水和剤1000倍
 6月14日 イオウフロアブル500倍・アファム乳剤1000倍・ベストガード水溶剤2000倍・スピノース顆粒水和剤2500倍
 6月26日 モレスタン水和剤3000倍・アケリメック1000倍

無栽培：平成27年 8月 5日 トシヨウヒクリン 30L/10a 全面点注

メロン：平成27年 8月21日 スターマイトフロアブル2000倍
 8月24日, 8月31日, 9月7日, 9月14日, 9月21日, 9月28日 モレスタン水和剤200倍
 10月5日, 10月12日, 10月19日, 10月26日 モレスタン水和剤200倍
 8月26日 ライメイフロアブル2000倍・スピノース顆粒水和剤5000倍
 9月 1日 ランマンフロアブル2000倍・ホリハリン水和剤1500倍・サンヨール500倍
 9月 4日 ホリオキシAL水溶剤10倍塗布
 9月 9日 ライメイフロアブル2000倍・ロフラル水和剤1000倍・スピノース顆粒水和剤5000倍
 9月14日, 9月21日, 9月28日, 10月5日, 10月12日, 10月19日 オートサイト水和剤80 400倍
 9月17日 スミレックス水和剤1000倍・アトマイヤーフロアブル4000倍
 9月18日 ホリオキシAL水溶剤 10倍塗布
 9月21日, 9月28日, 10月5日, 10月12日, 10月19日 タイヤノン乳剤40 700倍散布
 9月28日, 10月5日, 10月12日, 10月19日, 10月26日 スカウトフロアブル2000倍・アケロスリン乳剤1000倍・タコニール1000 700倍
 9月30日 フルビカフロアブル2000倍
 10月 1日 ホリオキシAL水溶剤10倍塗布
 10月12日, 10月19日, 10月26日 フェスティバルC水和剤1000倍・タニトロンフロアブル1000倍・アフェットフロアブル2000倍・アクタラ顆粒水溶剤2000倍
 トップシンM水和剤1500倍・テトン水和剤500倍
 10月14日 サンヨール500倍・サフロール乳剤2000倍
 10月19日・10月26日 アファム乳剤1000倍・サンマイトフロアブル1000倍
 10月23日 ウララDF2000倍・コルト顆粒水和剤4000倍
 10月26日 マイトコーネフロアブル1000倍

無栽培：平成28年 6月 1日 クロビク80 30L/10a 全面点注

別紙3. 過去 1 年間に作付けした作物および使用した農薬

無処理区 G

無栽培:	平成27年	8月 5日	ト`ジ`ョウビ`クリン 30L/10a 全面点注
葉ねぎ:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
		12月15日	アミスター20フロアブ`ル2000倍・ハチハチ乳剤1000倍
	平成28年	1月 6日	ハチハチ乳剤1000倍
ほうれんそう:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
しゅんぎく:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
みずな:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
みつば:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
さやいんげん:	平成27年	10月13日	リゾ`レックス水和剤500倍1L/㎡灌注
		11月15日	スミレックス水和剤1000倍・コルト顆粒水和剤3000倍・サンマイフロアブ`ル1000倍
こまつな:	平成28年	2月15日	トップ`シ`ンM水和剤2000倍
		2月19日	トクチオン乳剤1000倍
無栽培:	平成28年	6月 1日	クロビ`ク80 30L/10a全面点注

別紙4.

9. 被験物質以外に使用した農薬

チウラム・ヘノミル（種子消毒）、食酢・塩基性塩化銅（種子消毒）、モスピラン水溶剤・スピノエース顆粒水和剤
（以上購入苗に処理済み）

6月10日カッテン乳剤5000倍・ヘストガード®水溶剤1000倍

6月24日ヘストガード®粒剤 1g/株

7月1日スミレックス水和剤2000倍・ベトファイター顆粒水和剤2000倍・モスピラン顆粒水溶剤8000倍・ティアナSC2500倍

7月6日フルビカフロアブル®2000倍・ライメイフロアブル®2000倍・スミレックス水和剤2000倍

7月19日カッテン乳剤5000倍・スターマイトフロアブル®2000倍・スタークル顆粒水溶剤2000倍

7月22日モヘントフロアブル®2000倍・モスピラン顆粒水溶剤2000倍

7月30日チェス顆粒水溶剤5000倍・粘着くん液剤100倍

8月5日コルト顆粒水和剤4000倍・粘着くん液剤100倍

8月11日コテツフロアブル®2000倍・粘着くん液剤100倍